

「茅ヶ崎市新型インフルエンザ等対策行動計画（改訂版）（素案）」 のパブリックコメント実施結果

—ご協力ありがとうございました。—

1 募集期間 平成29年12月7日（木）～ 平成30年1月8日（月）

2 意見の件数 16件

3 意見提出者数 2人

4 意見提出者年齢

年代	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人

5 内容別の意見件数

	項目	件数
1	計画に関する意見	4件
2	インフルエンザ全般に関する意見	7件
3	パブリックコメントに関する意見	5件
4	その他の意見	0件
	合計	16件

茅ヶ崎市 保健所 保健企画課 保健企画担当
0467-85-1171（内線1102）
e-mail:hokenjyo_hokenkikaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

(意見及び市の考え方)

■計画に関する意見（４件）

(意見１)

「素案」にあります様に平成２９年４月に本市が保健所政令市へ移行したことから平成２６年度に新型インフルエンザ等対策特別措置法に策定した「茅ヶ崎市新型インフルエンザ等対策行動計画」を改良しインフルエンザの状況に応じて「発生段階」に沿った「主要６項目」を下記の通り定めた事は非常に重要な事だと思います。

①未発生期対応②海外発生期対応③県内未発生期対応④県内発生期対応⑤県内感染期対応⑥小康期対応

この様に全体を見通して早目に対策を行いワクチン接種やマスク、うがい、手洗等予防だけにたよらないで特に幼児、高齢者にインフルエンザが感染しない様にするのが大きな課題だと思います。

(市の考え方)

本計画（改訂版）（素案）において、未発生期からまん延後までの「発生段階」に合わせ、「主要６項目」ごとにそれぞれの対応を記載しており、今回の改訂では保健所政令市が担うこととなる「サーベイランス」や「医療体制」を中心に、追加及び変更を行っております。

新型インフルエンザ対策につきましては、未発生期の時期から発生に備えた準備を行うこととしており、その中でも予防まん延防止につきましては、日ごろから個人や学校等における基本的な感染症対策の理解促進や周知を行うこととしております。

また、県内未発生期以降につきましては、学校や保育施設等に対し、必要に応じて、臨時休業などの適切な実施の要請をいたします。さらに、病院、高齢者施設等の基礎疾患を有する方が集まる施設や、多数の方が居住する施設等における感染対策の強化について要請いたします。

ご指摘いただきました免疫力が比較的高くないと思われる幼児や高齢者についての予防対策については、関係機関等の連携を図りながら、今後も強化してまいります。

(意見２)

対策会議等十分な情報公開とその啓発を望む。

(市の考え方)

本計画（改訂版）（素案）において、基本的な方針の(3)情報提供・共有の中で、発生段階に応じて、対策の実施状況等について、迅速かつ分かりやすい情報提供を行うこととしていることから、新型インフルエンザ等対策会議等において決定した市の方針等に

については、市広報紙のほか、迅速な対応が求められる場合には、ホームページやSNS、防災無線等の様々な広報媒体を活用して分かりやすい情報提供を行ってまいります。

(意見3)

市民人権を大切(尊重)して実施して欲しい。当然個人情報保護にも配慮して下さい。

(市の考え方)

基本的人権の尊重につきましては、計画書(改訂版)(素案)8ページに記載のとおり、新型インフルエンザ等対策の実施にあたり、基本的人権を尊重することとしております。

また、個人情報保護につきましては、「茅ヶ崎市個人情報保護条例」に基づき、個人情報保護を念頭に置きながら、個人情報を適正に取扱ってまいります。

(意見4)

当パブコメでは用語解説がありますが、情報提供する時に用語解説なくても分るようできるだけして下さい。

(市の考え方)

情報提供を行う際には、市民及び町民の皆さまにとって、一目で理解しやすく、読みやすい文章や図を心掛けてまいります。

■インフルエンザ全般に関する意見(7件)

(意見5)

何故毎年決まった時期にインフルエンザが流行するのでしょうか。
寒くなってインフルエンザの菌が活動しやすくなるからだろうと言う事は理解出来ますが、流行する前に防止する対策はないのだろうか。インフルエンザは、幼児や高齢者に危険だと言われております。早めにワクチン接種や手洗い・うがい等の防止対策も重要だと思いますがインフルエンザの菌自体をなくする対策も考えて行く必要があるのではないかと思います。そして幼児と高齢者に対する伝染対策をもっと考える事が重要ではないかと思います。

(意見6)

今後もインフルエンザの流行は続くと思いますが、インフルエンザの流行をなくす様、いろいろな対策を引き続き考えていく事が重要だと思います。

(市の考え方)

インフルエンザウイルスは寒気と低湿度の環境を好むため、季節性インフルエンザは例年12月から4月頃に流行し、1月末から3月上旬に流行のピークを迎えます。

茅ヶ崎市では、ホームページで感染症発生動向を公表し、情報提供を実施し、広報紙で随時、注意喚起や感染症対策に関する周知を行っております。また、社会福祉施設等への感染症予防対策の研修も実施しているところですが、今後におきましても、更に感染症予防の向上に努めてまいります。

また、茅ヶ崎市では、65歳以上の方を対象とし、毎年10月1日から12月31日までの間、定期予防接種として高齢者インフルエンザ予防接種を行っております。

予防接種を受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5か月間とされているため、毎年インフルエンザが流行するまでの12月中旬までに接種を受けておくことが大切であると考えております。

高齢者がインフルエンザに罹患すると、肺炎を併発し重症化する場合や死亡に至る場合があります。予防接種を受けることによる発病阻止効果は高齢者では34～55%程度、1歳～6歳未満は30%前後となっておりますが、重症化予防につながりますので高齢者に対して広報紙折り込み等で周知しております。

(意見7)

今聞く所によりますとインフルエンザワクチンの改良をしていたため、ワクチンの量が足りなくなったとの事です。確かにインフルエンザのワクチンをその痛源菌によって改良して行かなくてはいけないと思いますが、そのためにワクチンの量が足りなくなりインフルエンザの流行を増やすのはさけなくてはならないと思います。そのためワクチン改良を早く行う必要があると思います。これは、日本だけでなく世界的にお互いに協力し、研究して対策を行わなくてはいけないと思います。又、インフルエンザの菌もだんだん成長して強くなって行き、症状も変わって行くと思いますので、そのためにも世界的に研究して対策をして行かなくてはならないと思います。

(意見8)

今年度は[予防注射(接種)]不足が伝えられておりました。そのようなことがないよう体制を整備して欲しい。予防・まん延防止と言っても意味がなくなる(スローガン倒れや絵に書いた餅になる)

(市の考え方)

季節性インフルエンザはウイルスの抗原性が小さく変化しながら毎年世界中のヒトの間で流行するため、WHOや日本の国立感染症研究所が世界各地でインフルエンザウイルスの定点観測を行い、その年の流行株を予測し、それをもとに厚生労働省によりその年のワクチン候補株が選ばれ、その後製薬会社によるワクチンの製造が始まります。

今年度は厚生労働省の選んだ株による製造可能量が予定より大幅に少なかったため、急きょ製造株を変更したことにより、インフルエンザワクチンの全国的な不足が報じら

れました。茅ヶ崎市として全国的なワクチン不足を防ぐことはできませんが、今後におきましても、今年度実施したように、定期予防接種の接種期間の延長などの対応を行い、接種の機会の確保に努めるとともに、厚生労働省や世界保健機構（WHO）の動向、ワクチンの共有状況に注視し、状況に応じた情報提供や提言を行い感染症予防の向上に努めてまいります。

（意見9）

新聞（一般紙）では、風邪（新型インフルエンザ含）について連日わかりやすい報道がありました。市でも分かりやすい啓発（PR）をもっともっとする必要があると思う。

（意見10）

旧型も昔は新型であったと思う。風邪の定義を そのことも含め十分啓発（PR）して下さい。

（市の考え方）

市民及び町民の皆さまに必要な新型インフルエンザを含む感染症等の情報につきましては、身近な広報媒体である広報紙やホームページ等を活用し、今後も更に普及啓発活動に努めてまいります。

（意見11）

H29末（12月）予防注射したのにインフルエンザにかかり会社を休んだ人がおりました。（医者受診したと思われる）型が異なるのでしょうか。新型なのでしょうか。色々と情報提供して下さい。またこのことは地域の人からも聞きます。

（市の考え方）

インフルエンザワクチンは、体の中に入ったインフルエンザウイルスが細胞に侵入して増殖する「感染」を完全に抑える働きはありません。

ウイルスが増えると、数日の潜伏期間を経て、発熱やのどの痛み等のインフルエンザの症状が出現しますが、インフルエンザワクチンには、この「発病」を抑える効果が一定程度認められております。

しかしながら、麻しんや風しんワクチンで認められているような高い発病予防効果を期待することはできません。発病後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、入院治療を必要とする方や死亡される方もおり、これにつきましては、インフルエンザの「重症化」とされております。特に基礎疾患のある方や高齢者では重症化する可能性が高いと考えられており、インフルエンザワクチンの最も大きな効果は、「重症化」を予防することとされております。

したがって、インフルエンザワクチンを接種したとしてもインフルエンザに罹ることはあり、また、罹ったからといってそれが直ちに新型のインフルエンザということ

でもありません。

■パブリックコメントに関する意見（5件）

（意見12）

当パブリックコメントの説明会を実施しないのですか。当市議会で市より実施する回答があったと思います。実施しないとパブコメの意味がなくなると思う。

（市の考え方）

本計画（改訂版）（素案）の説明会につきましては、平成29年12月26日に茅ヶ崎市保健所講堂で実施し、今後の体制整備等に関するご意見をいただきました。

（意見13）

今年度より市政モニター制度が廃止されました。また、パブコメの応募者も少なく、そして当パブコメ実施を知らない人も多いと思う。今まで以上の工夫と啓発（PR）を望む。

（市の考え方）

パブリックコメント手続につきましては、計画の策定や条例の制定等をはじめとした、市の基本的な政策などの決定過程において、市民の皆さまからご意見をいただける重要な市民参加の機会であると認識しております。

実施にあたっては市政情報コーナーのほか、市広報紙やホームページ、公共施設への掲示等、様々な媒体や方法を組み合わせながら周知啓発しているところです。

パブリックコメント手続をはじめとした市民参加の方法の実施にあたっては、案件に応じて組み合わせて実施するなど、参加の機会を幅広く提供することで充実を図るとともに、引き続き積極的な情報提供に努め、周知啓発に取り組んでまいります。

（意見14）

パブコメ実施11月3件12月6件12月から1月にかけて4件と集中しています。このこともパブコメの意味をなくすと思う。（市の立場だけでなく、市民の立場で実施を）そして当パブコメ実施を知らない人も多いと思う。今まで以上の工夫と啓発（PR）を望む。

（市の考え方）

パブリックコメント手続は、計画の策定や条例の制定をはじめとした、市の基本的な政策等の決定過程において、市民の皆さまからご意見をいただく機会を設定し、寄せられたご意見に対する市の考え方を明らかにするとともに、有益なご意見を考慮しながら

政策等を決定していく、市民参加の手法の一つです。

パブリックコメント手続の実施にあたっては、対象とする計画等の論点が明確になった段階で、かつ、市民の皆さまのご意見を反映することが可能な段階を見極めたうえで、もっとも適切な時期を設定することが必要かつ効果的であり、月ごとの実施件数に限度を設けるなど、平準化を図ることは困難であると考えております。

そのため、今後とも引き続き、適切なタイミングでパブリックコメント手続を実施してまいりますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

(意見15)

市はパブコメの概略版を作ると言っていました。そして今年度実施のパブコメで概略版を発行したの也有ります。今回のパブコメも概略版を作ってもらいたかったです。分かりやすいものを作れば応募者も増えると思う。

(市の考え方)

パブリックコメント手続を実施する際の資料については、素案や関係資料が相当量に及ぶ場合、概要版を作成するなど、案件に応じて意見が提出しやすい環境づくりに配慮することとしております。

本計画(改訂版)(素案)につきましては、ページ数が膨大のため、計画の位置付けや対策の目的、「発生段階」に沿った「主要6項目」などについて、A4両面1枚にまとめた概略版をパブリックコメント資料2「茅ヶ崎市新型インフルエンザ等対策行動計画(改訂版)(素案)の概要」として添付しております。

今後とも、パブリックコメント手続の実施にあたりましては、市民の皆さまにわかりやすい資料の作成に努めてまいります。

(意見16)

募集締切1/8新年早々では忘れてしまう。休日(祝日含む)も多いし、正月松の内あけでは多忙です。また提出しにくい工夫を

(市の考え方)

パブリックコメント手続により意見を求める期間については、当該計画の案の公表から起算して30日以上としております。

本パブリックコメントの実施におきましては年始早々の募集締切となり、ご不便をおかけいたしました。本パブリックコメント手続の実施にあたりましては、計画等の論点がまとまり、意見照会が可能となった段階で、実施いたしました。結果的に年始早々の募集締切となってしまいましたが、ご理解の程よろしくお願い致します。

今後も、パブリックコメント手続の実施にあたりましては、市民の皆さまが意見提出しやすい環境づくりに配慮してまいります。